

令和元年度 施策評価シート (平成29・30年度評価)

評価日	令和元年12月1日	No.	6 - 1
-----	-----------	-----	-------

基 本 事 項	施策名	第1節 広聴・広報の充実	所管部署名	政策室	目標達成度	
	まちづくり目標	第6章 まちづくりの推進のために(行政運営)	評価責任者	野尻 宗一	▼	
	施策小項目	1 広聴の充実	関連部署名(1)	政策室		
	施策小項目	2 広報の充実	関連部署名(2)	議会事務局		
	施策小項目		関連部署名(3)			
施策小項目		関連部署名(4)				
施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市政に反映させるために、的確な市民ニーズを把握することをめざす。 ・市政を市民に伝えることで理解が高まることをめざす。 		市民の役割 市民と行政の役割	市が展開する施策に対する理解と関心を高め、積極的に市政に対し意見・要望などを発信することに努める。		
施策に関する個別計画				市民の多様なニーズを把握し市政に反映するため、市民の意見・要望を積極的に聴取するとともに、市民が要求・期待する市の情報を積極的に市民に発信する。		
目的	対象 (誰、何を対象にして施策を行なうのか)	全市民	意図 (対象をどのようにしたいのか)	市の情報を容易に得られる環境があり、市政への理解と関心が高まるとともに、市に対し意見などを発信しやすくなる。		

No.	指標名 (上段)	単位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質 (下段)						
①	広報よしかわを毎月読んでいる人の割合	%	62	52.2	68	▼	77
	増加することが良いとされる指標		H28	H30	H30		R3
②	プレス発表における新聞等への掲載回数	件	71	54	80	▼	88
	増加することが良いとされる指標		H27	H30	H30		R3

施 策 の 評 価	施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 計画通り進行できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できなかった <input type="checkbox"/> 計画通り進行できなかった	目標達成度評価 施策の評価平均点 ▼ 2.75	
	市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できた <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できた <input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できなかった <input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できなかった		
	施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 構成は妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 構成は妥当でなかった		
施策に関する現状と課題 市民意識調査において広報よしかわを「毎月読んでいる」と回答した方の割合は、70歳以上で73.2%、60歳代で69.8%、50歳代で54.8%、40歳代で39.2%、30歳代で39.2%、20歳代で9.4%、10歳代で6.3%であり、年齢が下がるほど割合は落ちている。また、「読んだことがない」と回答した方の大半は「興味がない」という理由であった。世代格差を考慮したアプローチやより興味を引く紙面づくりが課題である。マスメディアへの掲載回数についても目標を下回ってはいるが、情報提供件数は減っておらずプレスリリースに対する職員の意識は高くなっている。情報提供件数をさらに増加させるとともに、掲載率がより高まるような工夫が必要である。				

令和元年度 施策評価シート (平成29・30年度評価)

評価日	令和元年12月1日	No.	6 - 2
-----	-----------	-----	-------

基 本 事 項	施策名	第2節 情報公開の推進	所管部署名	総務部	目標達成度
	まちづくり目標	第6章 まちづくりの推進のために(行政運営)	評価責任者	浅水 明彦	◎
	施策小項目	1 情報公開・個人情報保護の適正な運用	関連部署名(1)	総務部庶務課	
	施策小項目	2 積極的な情報の提供	関連部署名(2)	議会事務局	
	施策小項目		関連部署名(3)		
施策小項目		関連部署名(4)			
	施策の目的	・市民が必要な市の情報を必要なときに入手できることをめざす。 ・市の保有している個人情報を本人の権利利益を害することのないよう管理することをめざす。	市民と行政の役割分担	市民の役割 市が保有する公文書を情報公開請求、個人情報の開示請求をすることによって、市政運営や個人情報の管理などが適正に行われているかを確認することに努める。	
	施策に関する個別計画	行政の役割 市民がいつでも自由に行政情報入手し、知ることができるようにし、市政への市民参加を促進するとともに、自己に係る情報を自ら管理する「自己情報コントロール権」を市民が行使できるようにする。			
	目的	対象 (誰、何を対象にして施策を行なうのか) (直接の対象)実施機関の保有している公文書及び個人情報 (最終的な対象)全市民	意図 (対象をどのようにしたいのか)	非公開情報を除き、市民等からの請求に応じ公文書が適正に公開される。また、市の保有する個人情報が本人の請求に応じ適正に開示される。	

No.	指標名(上段)	単位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質(下段)						
①	情報公開制度・個人情報保護制度研修の修了者数	人	172	99	120	◎	300
	増加することが良いとされる指標						

施 策 の 評 価	施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 計画通り進行できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できなかった <input type="checkbox"/> 計画通り進行できなかった	目標達成度評価 施策の評価平均点 ◎ 3.5	
	市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できた <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できた <input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できなかった <input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できなかった		
	施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 構成は妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 構成は妥当でなかった		
	施策に関する現状と課題 ・情報公開・個人情報保護事業については、市民に制度が浸透してきており、情報公開等請求件数が年々増加している。一方で職員が対応する場面が増えることから、制度に関する研修を引続き実施していく必要がある。 ・議会情報提供事業については、市議会傍聴者数、議会インターネット中継視聴者数、市議会ホームページアクセス数とも前年度から大きく伸びてきており、議会活動に対する市民の関心度が高まってきていることが見受けられる。			

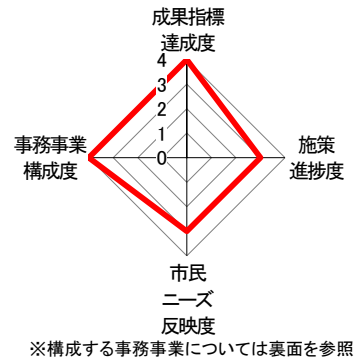
令和元年度 施策評価シート (平成29・30年度評価)

評価日	令和元年12月1日	No.	6 - 3
-----	-----------	-----	-------

基 本 事 項	施策名	第3節 情報化の推進	所管部署名	総務部	目標達成度
	まちづくり目標	第6章 まちづくりの推進のために(行政運営)	評価責任者	浅水 明彦	◎
	施策小項目	1 情報機器の適正な管理運用	関連部署名(1)	総務部庶務課	
	施策小項目	2 情報通信技術を活用した利便性の向上	関連部署名(2)	総務部市民課	
	施策小項目		関連部署名(3)		
施策小項目		関連部署名(4)			
	施策の目的	情報通信技術を積極的に活用し、市民の利便性の向上をめざす。	市民の役割 市民と行政の役割	市が展開する窓口サービス業務の電子化に対して、意見や要望などを伝える	
	施策に関する個別計画			市民が求める窓口サービスを正確かつ迅速に提供する。	
	目的	対象 (誰、何を対象にして施策を行なうのか) 全市民	意図 (対象をどのようにしたいのか)	市民が正確かつ迅速な窓口サービスを受けることができる。	

No.	指標名 (上段)	単位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質 (下段)						
①	情報通信技術を活用した手続きの導入件数	件	3	9	6	◎	8
	増加することが良いとされる指標		H27	H30	H30		R3

施 策 の 評 価	施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 計画通り進行できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できなかった <input type="checkbox"/> 計画通り進行できなかった	目標達成度評価 施策の評価平均点 ◎ 3.5
	市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できた <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できた <input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できなかった <input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できなかった	
	施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 構成は妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 構成は妥当でなかった	



施策評価
レーダーチャート

施策に関する現状と課題	・システム事業全般では、頻繁に行われる制度改正に対し速やかな対応が求められている。また、現代の行政サービスは情報通信技術の利用は必須であるため、通信の安全性を確保する等、セキュリティ対策が必要がある。 ・情報通信技術を活用した手続きについては、平成29年10月に県電子申請システムの更新があり、操作性が向上したことから導入件数が大幅に増加した。今後ますます活用されていくことが見込まれる。 ・住民票自動交付化事業については、平成29年度は510件、平成30年度は1,236件と増加しており、今後もマイナンバーカードの普及が進むことで利用枚数の増加が見込まれる。
-------------	--

令和元年度 施策評価シート (平成29・30年度評価)

評価日	令和元年12月1日	No.	6 - 4
-----	-----------	-----	-------

基 本 事 項	施策名	第4節 計画的、総合的な行政の推進	所管部署名	政策室	目標達成度	
	まちづくり目標	第6章 まちづくりの推進のために(行政運営)	評価責任者	野尻 宗一	◎	
	施策小項目	1 行政評価によるマネジメントの推進	関連部署名(1)	政策室		
	施策小項目	2 品質マネジメントシステムの推進	関連部署名(2)			
	施策小項目	3 計画的な行財政改革の推進	関連部署名(3)			
施策小項目	4 組織体制の整備	関連部署名(4)				
	施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> 明確な目標設定と評価、評価に基づく継続的改善が行われることをめざす。 市民満足度のより一層の向上をめざす。 社会情勢等により変化する行政需要に迅速かつ確に対応できる組織をめざす。 職員研修の充実により職員の能力の向上、専門性の育成を推進するとともに、優れた人材の確保をめざす。 	市民の役割 市民と行政の役割	市の施策に対する関心を高め、まちづくりの想いを共有することに努める。	◎	
	施策に関する個別計画	第4次よしかわ行財政改革大綱(平成27年度～平成31年度) 吉川市まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成27年度～平成31年度) 第6次吉川市定員適正化計画(平成27年度～令和2年度) 吉川市人材育成基本方針(平成30年度～)				各分野の計画における施策などの目標を明確にし、進行管理と説明責任を果たす。また、自らの創意工夫を持って、自治体経営を行う。
	目的	対象 (誰、何を対象にして施策を行なうのか) 行政施策、事務事業、行政組織、全職員 意図 (対象をどのようにしたいのか) 目標を明確にし、結果を評価し、評価を活かした行政運営が行われるようになる。また、適正な人事管理を行うことにより、市職員として、様々な行政課題に適切に対応できるようになる。				

No.	指標名 (上段)	単位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質 (下段)						
①	市全体の取り組みに対する満足度	%	72.3	77.5	75.4	◎	80
	増加することが良いとされる指標		H28	H30	H30		R3
②	事務事業評価の達成度	%	77.7	82.7	78.9	◎	80
	増加することが良いとされる指標		H27	H30	H30		R3

施 策 の 評 価	施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 計画通り進行できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できなかった <input type="checkbox"/> 計画通り進行できなかった	目標達成度評価 施策の評価平均点 ◎ 3.5 目標達成(100%以上):◎ 目標をほぼ達成(80%~99%):○ 目標を下回る(50%~79%):△ 目標を大幅に下回る(49%以下):▼	成果指標達成度 4 3 2 1 0 事務事業構成度 施策進捗度 市民ニーズ反映度 ※構成する事務事業については裏面を参照
	市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できた <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できた <input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できなかった <input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できなかった		
	施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 構成は妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 構成は妥当でなかった		

施策に関する現状と課題

・目標指標である「市全体の取り組みに対する満足度」(市民意識調査における「行政サービスに対する満足度」)については、目標値を達成している。今後も引き続き市民意識調査等により、的確に市民ニーズを把握し、施策を実施していく。

・第5次総合振興計画後期基本計画の推進にあたっては、社会情勢や市民ニーズ、財政状況などの変化に柔軟に対応できるよう、第4期実施計画の改定を行った。

・行財政改革大綱については、各取り組みの進捗管理を行いながら、状況に応じて計画の見直しを行った。令和元年度までの推進期間となっているため、社会情勢の変化や行政需要の多様化・複雑化への対応について、次期大綱に反映する必要がある。

令和元年度 施策評価シート (平成29・30年度評価)

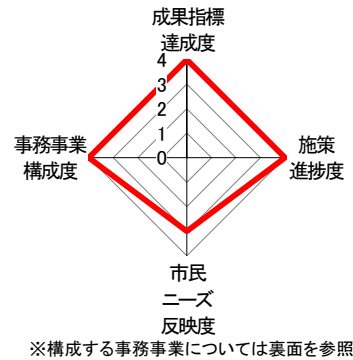
評価日	令和元年12月1日	No.	6 - 5
-----	-----------	-----	-------

基 本 事 項	施策名	第5節 持続可能な財政運営	所管部署名	総務部	目標達成度
	まちづくり目標	第6章 まちづくりの推進のために(行政運営)	評価責任者	浅水 明彦	◎
	施策小項目	1 計画的な財源配分	関連部署名(1)	総務部財政課	
	施策小項目	2 計画的な市債の活用	関連部署名(2)	総務部課税課	
	施策小項目	3 財源の確保	関連部署名(3)	総務部収納課	
施策小項目	4 財政状況の公開	関連部署名(4)	健康長寿部国保年金課		
	施策の目的	計画的な行政運営を推進するために必要な財源が確保できるよう、継続的かつ安定的な財政運営をめざす。	市民と行政の役割	市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> 市の財政状況を理解するとともに、市民が自ら行うことは自ら行うよう努める。 市税に対する理解に努める。
	施策に関する個別計画			行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> 効率的かつ効果的な財政運営に努める。 市税の適正な課税に努め、公正な徴収を図る。
	目的	対象 (誰、何を対象にして施策を行なうのか) ・一般会計及び特別会計予算 ・市税の納税義務者	意図 (対象をどのようにしたいのか)	・総合振興計画に掲げる事業を着実に推進しながら、健全な財政運営を維持する。 ・市税の適正な課税に努め、公正な徴収を図るとともに、納期限内の納付を促す。	

No.	指標名 (上段)	単位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質 (下段)						
①	実質公債費比率	%	4.5	6.5	6.9	◎	10
	減少することが良いとされる指標		H27	H30	H30		R3
②	市税の収納率	%	98.8	99.3	98.9	◎	99
	増加することが良いとされる指標		H27	H30	H30		R3

施 策 の 評 価	施策の進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進行できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できなかった <input type="checkbox"/> 計画通り進行できなかった	目標達成度評価	◎	施策の評価平均点	3.75
	市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できた <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できた <input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できなかった <input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できなかった				
	施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 構成は妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 構成は妥当でなかった				

施策評価 レーダーチャート



施策に関する現状と課題

持続可能な財政運営の推進にあたり、国・県補助金や交付税措置のある地方債を活用するなど、有効な制度の活用を図っている。特に地方債については、後年度の公債費が過大とならないよう、公債費比率の適正化が重要である。このうち交付税算入額をふまえた「実質公債費比率」は、目標値を下回っており、現状では健全な財政を維持できている。今後は、公共施設の長寿命化や、吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業の推進による市債残高の累増が課題となる。

また、市税の収納率については、徴収事務の一元化による業務の効率化及び体制強化を図るとともに、適正な課税と公平な徴収に積極的に取り組んだ結果、目標値を達成することができた。今後も課税客体を的確に捉え、調定額を確保するとともに、公平な徴収に努めるために、効果的な納税催告を行い、滞納繰越をさせないよう資力に応じた早期の滞納処分を実施していく。

令和元年度 施策評価シート (平成29・30年度評価)

評価日	令和元年12月1日	No.	6 - 6
-----	-----------	-----	-------

基本事項	施策名	第6節 公有財産の適正管理	所管部署名	総務部	目標達成度	
	まちづくり目標	第6章 まちづくりの推進のために(行政運営)	評価責任者	浅水 明彦	◎	
	施策小項目	1 公有財産の適正管理	関連部署名(1)	総務部財政課		
	施策小項目	2 新庁舎の建設	関連部署名(2)	政策室		
	施策小項目	3 公共施設等のマネジメント確立	関連部署名(3)	健康長寿部健康増進課		
施策小項目		関連部署名(4)	会計課			
基本事項	施策の目的	行政サービスの提供に必要な適正な財産保有と公有財産の効率的・効果的に適正な管理をめざす。		市民の役割 市民と行政の役割	公有財産等の適正な維持管理や売却・処分、新庁舎建設に関心を高めるとともに、情報を共有化し、意見等を行政に発信することに努める。	
	施策に関する個別計画	公共施設等総合管理計画(平成27年度～令和26年度)				市が所有する公有財産の有効活用や適正な維持管理に努めるほか、現庁舎が抱える様々な課題、新庁舎の必要性について説明責任を果たし、早期に新庁舎を建設する。
項目	目的	対象 (誰、何を対象にして施策を行なうのか)	意図 (対象をどのようにしたいのか)	使用目的の無い公有財産の売却、処分や、環境対応車の計画的導入、公共施設の更新等に関するマネジメント計画の策定により、公有財産が効率的に管理されるようになるほか、災害に強く、経済性、機能性に配慮した庁舎建設により、市民、職員が使いやすくなる。		

No.	指標名(上段)	単位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質(下段)						
①	耐震性を確保した新庁舎の建設	-	-	完成	完成	◎	完了
	-	-	-	H30	H30	-	-

施策の進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進行できた	目標達成度評価 施策の評価平均点	◎	4
	<input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できた			
	<input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できなかった			
市民ニーズの反映度	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できた	目標達成(100%以上):◎ 目標をほぼ達成(80%~99%):○ 目標を下回る(50%~79%):△ 目標を大幅に下回る(49%以下):▼		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できた			
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できなかった			
施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 構成は妥当であった	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 施策評価 レーダーチャート </div>		
	<input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当であった			
	<input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当でなかった			
施策に関する現状と課題 ・目標指標である耐震性を確保した新庁舎の建設については、官庁施設の総合耐震計画基準における最高水準の構造体Ⅰ類で庁舎を整備し、計画通り平成30年3月に竣工、同年5月から新庁舎で業務を開始した。				

令和元年度 施策評価シート (平成29・30年度評価)

評価日

令和元年12月1日

No. 6 - 7

基 本 事 項	施策名	第7節 地方分権の推進		所管部署名	政策室	目標達成度
	まちづくり目標	第6章 まちづくりの推進のために(行政運営)		評価責任者	野尻 宗一	▼
	施策小項目	1	権限移譲の推進	関連部署名(1)	政策室	
	施策小項目	2	広域連携の充実	関連部署名(2)	総務部市民課	
	施策小項目			関連部署名(3)		
施策小項目			関連部署名(4)			
	施策の目的	自己決定、自己責任で、地域の問題を解決することをめざす。		市民の役割 市民と行政の役割	地方分権に向けた市の取り組みについて関心を持ち、理解する。	
	施策に関する個別計画				自己責任により自己決定し、自主・自律的に地域課題を解決する。	
	目的	対象 (誰、何を対象にして施策を行なうのか)	意図 (対象をどのようにしたいのか)	スピーディで、かつ幅広くきめ細かなサービスを得ることができる。		
		全市民				

No.	指標名(上段)	単位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質(下段)						
①	計画期間内の権限移譲事務数	事務	-	0	-	▼	5
	増加することが良いとされる指標		-	H30	H30		H29~R3の累計

施 策 の 評 価	施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 計画通り進行できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できなかった <input type="checkbox"/> 計画通り進行できなかった	目標達成度評価	▼	施策の評価平均点	2.5
	市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できた <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できた <input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できなかった <input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できなかった	目標達成(100%以上):◎ 目標をほぼ達成(80%~99%):○ 目標を下回る(50%~79%):△ 目標を大幅に下回る(49%以下):▼	成果指標達成度 4 3 2 1 0 事務事業構成度 施策進捗度 市民ニーズ反映度 ※構成する事務事業については裏面を参照		
	施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 構成は妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 構成は妥当でなかった	施策評価 レーダーチャート			
	施策に関する現状と課題 ・権限移譲においては、第五次埼玉県権限移譲方針に基づき検討しているが、年間の取り扱い件数が少ない事務については、ノウハウが蓄積されにくいという課題があるため、移譲が受けにくい。 ・広域連携においては、公共施設予約システムの運用など、市単独では実施や解決が困難である行政運営について埼玉県東南部都市連絡調整会議(近隣市町で構成)と共同で行っている。また、他自治体とともに新たな連携を研究している。					

令和元年度 施策評価シート (平成29・30年度評価)

評価日	令和元年12月1日	No.	6 - 8
-----	-----------	-----	-------

基 本 事 項	施策名	第8節 シティプロモーションの推進	所管部署名	政策室	目標達成度
	まちづくり目標	第6章 まちづくりの推進のために(行政運営)	評価責任者	野尻 宗一	△
	施策小項目	1 魅力の発掘と充実	関連部署名(1)	政策室	
	施策小項目	2 新たな魅力の創出	関連部署名(2)		
	施策小項目		関連部署名(3)		
施策小項目		関連部署名(4)			
	施策の目的	市民が誇りに思えるような吉川魅力を創出するとともに、市内外に発信することで、まちの価値を高めることをめざす。	市民と行政の役割分担	市民の役割	市の歴史や文化、産業に興味を持ち、SNSなどによる情報の発信に努めます。
	施策に関する個別計画	吉川市シティプロモーション基本方針(平成28年度～)		行政の役割	市民が誇りに思えるような吉川魅力を創出するとともに、市内外に発信することで、まちの価値を高めることをめざす。
	目的	対象 (誰、何を対象にして施策を行なうのか) (直接の対象)吉川市 (最終的な対象)市民	意図 (対象をどのようにしたいのか)	(直接的な対象)第5次総合振興計画の将来都市像「人とまちが輝く快適都市よしかわ」の実現に向け、地域の活性化及び持続的発展を図る。 (最終的な対象)市民の愛着心の醸成	

No.	指標名(上段)	単位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質(下段)						
①	市への愛着度	%	78.3	73.8	79.2	▼	80
	増加することが良いとされる指標		H27	H30	H30		R3
②	人口(4月1日現在)	人	71179	72,877	72707	◎	75,000
	増加することが良いとされる指標		H28	H30	H30		R3

施 策 の 評 価	施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 計画通り進行できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できなかった <input type="checkbox"/> 計画通り進行できなかった	目標達成度評価	△	施策の評価平均点	2.88
	市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できた <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できた <input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できなかった <input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できなかった	目標達成(100%以上):◎ 目標をほぼ達成(80%~99%):○ 目標を下回る(50%~79%):△ 目標を大幅に下回る(49%以下):▼			
	施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 構成は妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 構成は妥当でなかった	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 施策評価 レーダーチャート </div>			

施策に関する現状と課題

・指標の「愛着度」については、在住年数を重ねるほど高くなる指標であるため、近年転入者が増加していることから数値が低くなっている。今後、在住年数を重ねる中で、市の魅力を感じ、住み続けたいと考えるような取り組みが必要である。

・これまで個々の施策において、市の魅力や資源の情報発信を断片的に行っていたが、総合的に取り組む必要があるため、市として目標とすべき姿を示した吉川市シティプロモーション基本方針を策定した(平成29年2月)。今後は、その目標を達成するために、継続的に推進していく方策(アクションプラン)の策定し、全庁的にシティプロモーションを推進する必要がある。

